



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 小池酸素工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6137 URL <https://www.koike-japan.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 英夫
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長執行役員 (氏名) 富岡 恭三 TEL 03-3624-3111
 管理部長
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	11,509	△1.7	597	△35.3	660	△47.2	362	△52.9
2025年3月期第1四半期	11,712	4.6	923	35.6	1,251	35.9	768	30.1

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 710百万円 (△54.4%) 2025年3月期第1四半期 1,557百万円 (16.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	17.19	—
2025年3月期第1四半期	36.56	—

(注) 2025年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	71,977	45,070	58.6
2025年3月期	74,735	45,571	56.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 42,150百万円 2025年3月期 42,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	260.00	260.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	24,000	△5.5	1,000	△56.7	1,200	△54.0	700	△55.2	33.20
通期	54,000	△2.2	4,300	△21.1	4,800	△20.6	2,800	△22.9	132.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2025年8月8日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

また当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	22,614,665株	2025年3月期	22,614,665株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,533,280株	2025年3月期	1,533,255株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	21,081,398株	2025年3月期1Q	21,032,650株

（注）2025年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	11
受注の実績	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国の関税政策の影響による景気の下振れリスクの高まりやウクライナ情勢、中東情勢といった地政学的リスクに加え、中国経済の停滞継続等により、依然として予断を許さない状況で推移しました。

一方、わが国経済は、雇用・所得環境の改善により、景気は緩やかに回復しているものの、物価上昇の継続による個人消費への影響や米国の関税政策の不確実性など、先行き不透明な状況となりました。

当社グループの主需要先である造船業界では引続き高い水準の手持ち工事量を維持しているものの、産業機械業界では市況は本格的な回復には至らず、建設業界では公共投資は底堅く、民間設備投資も持ち直しの動きが見られるものの、建設資材の高止まりや人手不足等の影響により工事進捗が停滞している状態が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画で掲げた「世界市場での顧客満足の実現と収益基盤の強化」に向けた拡販活動の推進や収益力の強化に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は115億9百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は5億97百万円（同35.3%減）、経常利益は6億60百万円（同47.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億62百万円（同52.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、造船業界において手持ち工事量が増加するなど比較的順調に推移した一方、他の需要先において仕事量の減少傾向が続く中、新規顧客への営業活動強化ならびに当社オンリーワン技術のDBC (Dual Beam Control) ファイバーレーザー切断機の拡販に注力しました。6月末には、多数の引合い案件のうち多くについて、補助金の採択を受けたことにより今後の納入に向けた動きが加速しておりますが、本期間における業績への影響は限定的でありました。海外市場においては、韓国・中国にて造船業界の設備投資に回復傾向がみられました。

その結果、売上高は46億18百万円（前年同期比2.6%減）、セグメント利益は3億45百万円（同42.5%減）となりました。

高圧ガス

産業ガス分野においては、市場環境に停滞がみられるなか、原材料や物流コストの上昇等に伴う価格改定、取引の深耕や拡大および新規拡販活動に注力しました。医療分野においては、仕入価格の上昇等に伴う価格改定、CPAPレンタルや高気圧酸素治療装置の営業活動を強化しました。その結果、売上高は微増、セグメント利益は減少しました。

その結果、売上高は48億47百万円（前年同期比0.0%増）、セグメント利益は3億81百万円（同2.7%減）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、労働環境改善や省力化、効率化の提案を行い付加価値の高い営業活動を進めましたが、鉄骨・建築・建機・自動車業界向けの需要減少を背景に溶接材料の出荷量が低迷しました。

その結果、売上高は19億50百万円（前年同期比3.4%減）、セグメント利益は1億8百万円（同48.5%減）となりました。

その他

その他の部門においては、海外向けの排ガス処理装置の受注が減少したことにより、売上高は減少しました。

その結果、売上高は92百万円（前年同期比10.6%減）、セグメント利益は23百万円（同25.4%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は719億77百万円で、前連結会計年度末比27億57百万円の減少となりました。

流動資産合計は381億45百万円で、前連結会計年度末比35億40百万円の減少となりました。これは主に電子記録債権が6億66百万円増加の一方、現金及び預金が24億62百万円減少、受取手形及び売掛金が18億62百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は338億31百万円で、前連結会計年度末比7億82百万円の増加となりました。これは主に投資有価証券が7億30百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は269億7百万円で、前連結会計年度末比22億56百万円の減少となりました。

流動負債合計は199億3百万円で、前連結会計年度末比26億61百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金が8億5百万円減少、未払法人税等が7億66百万円減少、電子記録債務が4億85百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は70億3百万円で、前連結会計年度末比4億5百万円の増加となりました。これは主に繰延税金負債が4億50百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は450億70百万円で、前連結会計年度末比5億1百万円の減少となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益3億62百万円を計上し、剰余金の配当が10億96百万円あった結果、利益剰余金が7億35百万円減少したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は58.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日(2025年8月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,984	14,521
受取手形及び売掛金	10,524	8,661
電子記録債権	4,183	4,850
有価証券	0	—
商品及び製品	4,827	4,862
仕掛品	2,026	2,097
原材料及び貯蔵品	2,137	2,198
その他	1,235	1,188
貸倒引当金	△233	△235
流動資産合計	41,686	38,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,856	3,858
機械装置及び運搬具(純額)	1,034	1,002
工具、器具及び備品(純額)	1,237	1,268
土地	6,322	6,312
リース資産(純額)	1,021	1,080
建設仮勘定	75	161
有形固定資産合計	13,547	13,683
無形固定資産		
のれん	1	2
その他	733	710
無形固定資産合計	735	713
投資その他の資産		
投資有価証券	11,019	11,749
投資不動産	4,800	4,778
繰延税金資産	86	74
退職給付に係る資産	1,605	1,620
その他	1,302	1,260
貸倒引当金	△48	△48
投資その他の資産合計	18,766	19,435
固定資産合計	33,048	33,831
資産合計	74,735	71,977

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,336	5,530
電子記録債務	4,602	4,116
短期借入金	5,037	5,094
1年内返済予定の長期借入金	268	221
リース債務	668	708
未払法人税等	945	179
賞与引当金	991	842
役員賞与引当金	128	122
受注損失引当金	10	4
製品保証引当金	149	146
建物解体費用引当金	14	14
その他	3,411	2,922
流動負債合計	22,565	19,903
固定負債		
長期借入金	548	502
リース債務	711	721
繰延税金負債	4,220	4,670
再評価に係る繰延税金負債	444	444
役員退職慰労引当金	53	46
退職給付に係る負債	248	246
資産除去債務	16	16
その他	354	355
固定負債合計	6,597	7,003
負債合計	29,163	26,907
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,105	2,105
利益剰余金	27,956	27,221
自己株式	△694	△694
株主資本合計	33,396	32,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,170	6,000
繰延ヘッジ損益	△1	△0
土地再評価差額金	917	917
為替換算調整勘定	2,469	1,994
退職給付に係る調整累計額	604	576
その他の包括利益累計額合計	9,160	9,488
非支配株主持分	3,014	2,920
純資産合計	45,571	45,070
負債純資産合計	74,735	71,977

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	11,712	11,509
売上原価	7,899	7,843
売上総利益	3,812	3,665
販売費及び一般管理費	2,888	3,068
営業利益	923	597
営業外収益		
受取利息	37	34
受取配当金	68	96
受取賃貸料	88	87
物品売却益	26	27
為替差益	68	—
雇用調整助成金	43	—
その他	84	33
営業外収益合計	418	280
営業外費用		
支払利息	32	32
賃貸費用	37	37
持分法による投資損失	14	34
為替差損	—	104
その他	7	8
営業外費用合計	91	217
経常利益	1,251	660
特別利益		
固定資産売却益	2	10
役員退職慰労引当金戻入額	—	7
特別利益合計	2	17
特別損失		
固定資産除売却損	0	4
特別損失合計	0	4
税金等調整前四半期純利益	1,253	673
法人税、住民税及び事業税	362	168
法人税等調整額	7	76
法人税等合計	369	245
四半期純利益	883	428
非支配株主に帰属する四半期純利益	114	66
親会社株主に帰属する四半期純利益	768	362

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	883	428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	263	827
繰延ヘッジ損益	△9	0
為替換算調整勘定	446	△519
退職給付に係る調整額	△26	△27
その他の包括利益合計	673	281
四半期包括利益	1,557	710
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,400	690
非支配株主に係る四半期包括利益	156	19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	356百万円	443百万円
のれんの償却額	2	0

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	4,742	4,845	2,020	11,608	103	11,712	—	11,712
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,742	4,845	2,020	11,608	103	11,712	—	11,712
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,742	4,845	2,020	11,608	103	11,712	—	11,712
セグメント利益	601	392	210	1,203	32	1,235	△312	923

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△312百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△360百万円、棚卸資産の調整額△20百万円及びその他の調整額68百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	4,618	4,847	1,950	11,416	92	11,509	—	11,509
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,618	4,847	1,950	11,416	92	11,509	—	11,509
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,618	4,847	1,950	11,416	92	11,509	—	11,509
セグメント利益	345	381	108	835	23	859	△261	597

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△261百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△484百万円、棚卸資産の調整額108百万円及びその他の調整額114百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	北米	アジア	欧州	その他の地域	合計
8,903	1,389	937	287	194	11,712

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	北米	アジア	欧州	その他の地域	合計
8,780	1,397	1,002	246	82	11,509

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3. 補足情報

受注の実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	5,667	102.4	9,344	89.9

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。